

# 図書館だより



12月号

2023年12月11日  
安田小学校図書館

## ■友だちに本を紹介（4年生）

4年生が図書の授業で本の紹介バトルを行いました。お気に入りの本を1人2分で紹介しあい、一番読みたかった本に投票するもので、班での予選、決勝戦を経てクラスでのチャンピオンを決定しました。

好きな本を準備したこともあり、考えていることを生き生きと話している姿があちこちで見られました。人前で話すのが苦手な児童もいますが、その本への想いが伝わって、班での代表に選ばれる場面もありました。きっと、自分の心からの言葉で話したことが、相手につたわったのでしょうね。

たくさんの人が学校図書館や学年文庫にある本を選んでくれたことも嬉しく感じました。



同点だったときはじゃんけんで班の代表を決めました。どちらが勝つか真剣勝負です。



## 本をただしくもどしていますか？

本を本だにもどす時は、ブックエンドの中に入れましょう。背ラベルを見ても返す場所がわからない時は、いつでもカウンターに言ってください。いっしょに正しい場所にかえしましょう。

## 保護者の皆様へ「冬休み特別貸し出しのお知らせ」

懇談の期間中に、保護者の皆様へ本の貸し出しを行います。16:30まで図書館を開館しますので、気軽にお立ち寄りください。皆様と本の話ができるのを楽しみにしています。

冊数：お子様1人に対して2冊まで  
返却日：1月12日（金）  
お子様を通してご返却ください。



## ひとり旅 ふたり旅



### 低学年

#### 『あおい目のこねこ』

エゴン・マチーセン/作 せたていじ/訳 福音館書店



「ねずみのくに」をさがす旅に出たこねこの短いお話です。こねこは、途中でおなかがかすいても、だれも助けられなくても、へこたれませんが、だれも助けてくれないから、「おもしろいことをしてみよう。なんにもなくても、げんきでいなくちゃいけないもの」そんな言葉に元気をもらえる読み物です。

### 中学年

#### 『ちびっこカムのぼうけん』

神沢利子/作 山田三郎/絵 理論社



母さんの病気を治すことができるイノチノクサを手に入れるためには、大男のガムリイが住む「火の山のとっぺん」に行かなければなりません。小さな男の子カムは、山よりも大きなガムリイとどうやって戦うのでしょうか。

ロシアのカムチャッカ半島に着想を得た、壮大な冒険物語。

### 高学年

#### 『星屑すぴりっと』 林けんじろう/著 講談社



小さなアリにも気をつかう優しい従兄が難病にかかった。中学生のイルキは、偶然知った同級生のハジメの手を借りて、従兄が見たいとひそかに願っている映画を探す旅に出た。行先は京都。親に内緒で青春18きっぷを握りしめた2人は、真冬の朝、始発の尾道駅から電車に乗り込んだ。

#### 『ふらいばんじいさん』

神沢利子/作 堀内誠一/絵 あかね書房



たまごを焼くのが大好きだったフライパンのじいさんは、新しいめだまやきなべにその役目を取られてしまいます。悲しくなったじいさんは「あたらしい せかいで、だれかが わしを まっているかもしれない。」と考えて家を出します。ジャングル、さばく、海。じいさんの新しい世界は見つかるのでしょうか。

#### 『黒ねこサンゴロウ 旅のはじまり』

竹下文子/作 鈴木まもる 偕成社



ひとり旅が好きで小学生のケン、お父さんのところに行く電車の中でねこに出会います。二本足で歩いて、しゃべるクールなそのオスねこ「サンゴロウ」は、地図に書いてある宝物を探すために、この先の駅で降りるというのです。

10冊ある『黒ねこサンゴロウ』シリーズの第1巻。1巻完結の物語です。

#### 『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』

喜多川泰/著 サンマーク出版

自分がついた嘘をごまかすためだけに東京に行った僕は、帰りの飛行機に乗り損ね、3400円の所持金とともに街に放り出された……

一人で他人と関わらなければならぬ状況におちいった高校生の成長がまぶしい青春小説。読み終えたあと、思わずとなりの見知らぬ人に話しかけてみたくなる、そんな本です。